

第5次三郷市総合計画策定にあたって（概要）

1. 計画策定について

（1）計画策定の趣旨と目的

「第5次三郷市総合計画」は将来都市像を描き、まちづくりの方針を明確にする令和12年（2030年）までの羅針盤となるものです。また、市民と行政の参加と協働によるまちづくりを進めるため、地域の独自性と特性を活かし、今後の新たな時代環境に柔軟に対応することを目的として策定するものです。

（2）計画の役割と策定の視点

① 計画の役割

この総合計画は、本市の総合的かつ計画的な行政運営を図るための最上位計画です。

本計画の位置づけとしては、三郷市自治基本条例の第16条に「市長は、議会の議決を経て、市政運営の指針となる基本構想を定めるとともに、基本構想、基本計画及び実施計画で構成される総合計画に基づき、総合的かつ計画的に市政を運営するものとする。」と位置づけられています。

② 計画策定の視点

- ア) 市民・職員の参加
- イ) 実現性・実効性の確保
- ウ) 進行管理と評価システムの構築
- エ) 他の計画との関連性の確保

（3）計画の期間と構成

① 期間

令和3年度（2021年度）から令和12年度（2030年度）の10年間

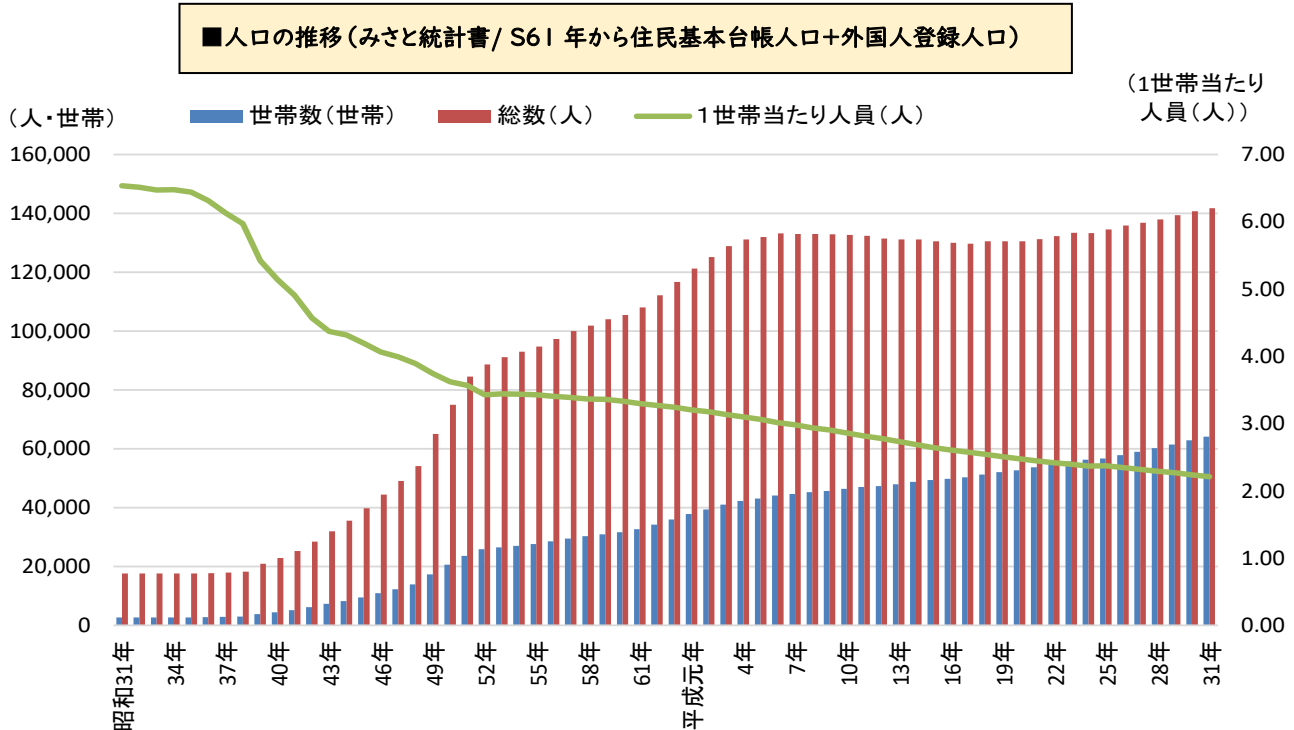
② 構成

総合計画は、基本構想、基本計画及び実施計画をもって構成します。

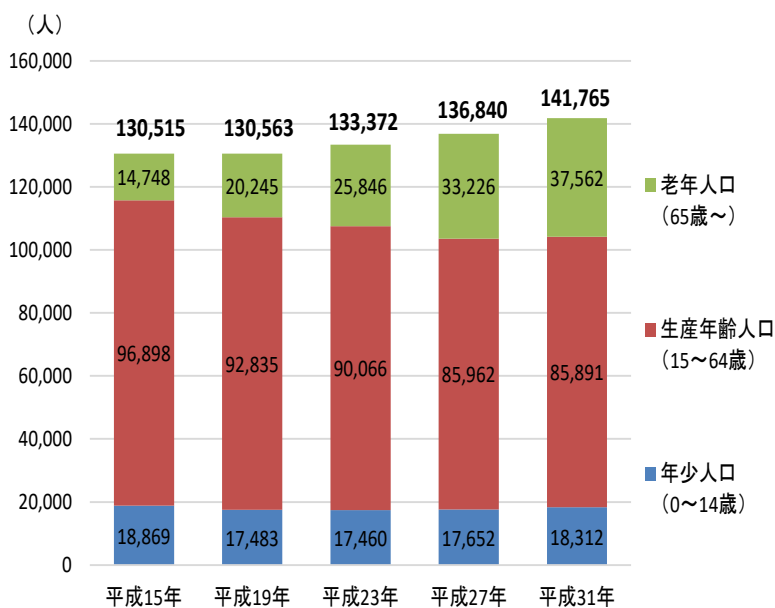
基本構想 10年間	まちづくりの理念や本市の都市将来像を明らかにし、それを実現するための基本的な施策の大綱を示すものです。
基本計画 5年間	基本構想に掲げる施策の大綱に基づき、根幹となる施策を具体的に示すものです。
実施計画 3年間 (1年ローリング)	基本計画に示された、施策の具体的な実施内容を明らかにするもので、予算編成や定員管理等の指針になるものです

2. 三郷市の状況

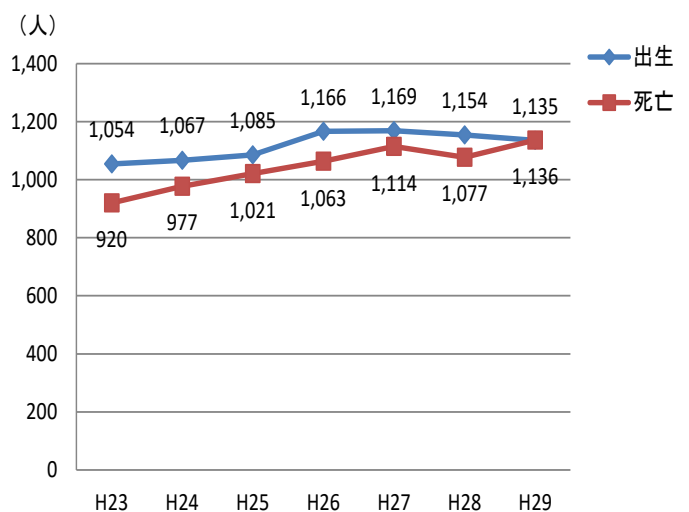
(1) 人口と世帯



■年齢3区分別の推移(三郷市「年齢別人口(各年4月1日人口)」)

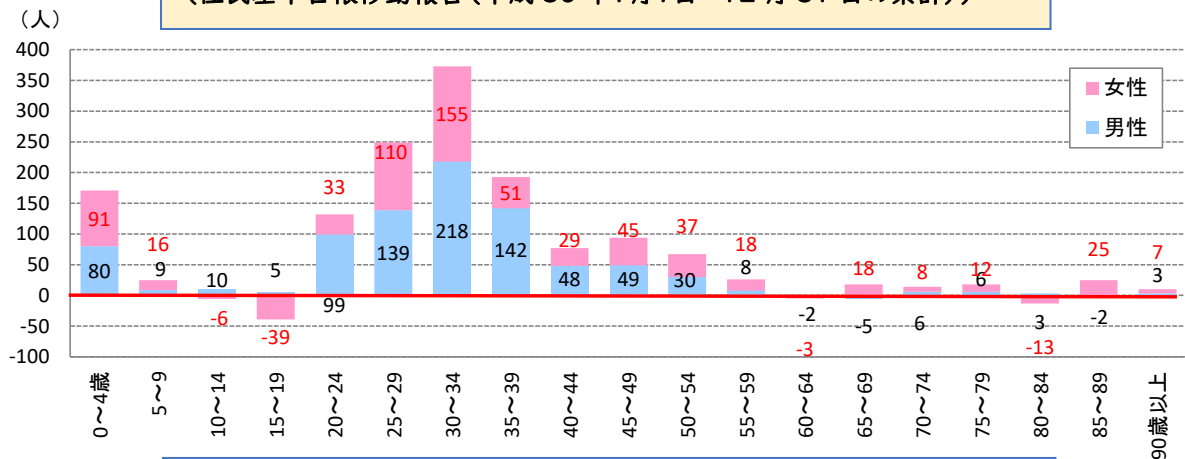


■出生数・死亡数の推移(:厚生労働省「人口動態統計」、各年1月1日～12月31日の累計)



■年齢別転入者数、転出者数との差（平成 30 年）

（住民基本台帳移動報告（平成 30 年 1 月 1 日～12 月 31 日の累計））



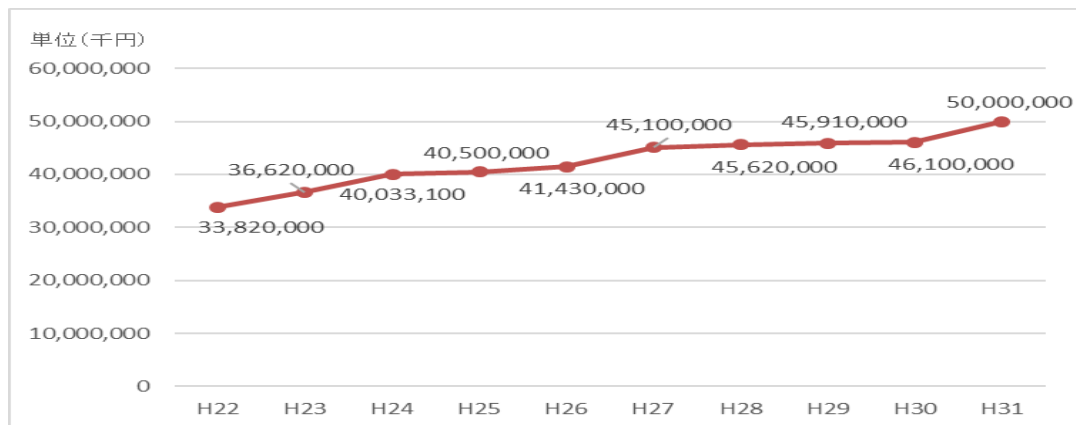
■合計特殊出生率の推移

（三郷市は「埼玉県 合計特殊出生率の年次推移（保健所・市区町村別）」、
埼玉県及び全国は「厚生労働省 人口動態統計」、それぞれ各年データ）

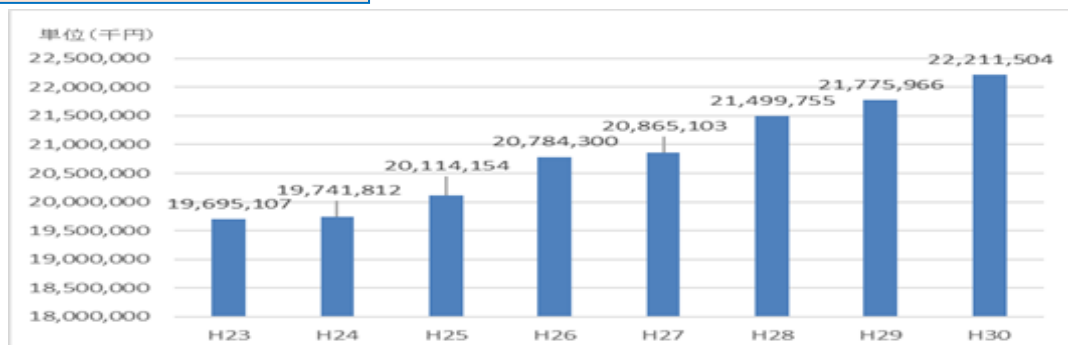
	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
三郷市	1.07	1.1	1.17	1.17	1.21	1.18	1.17	1.29	1.22	1.26	1.30	1.39	1.50	1.39	1.37
埼玉県	1.21	1.2	1.22	1.24	1.26	1.28	1.28	1.32	1.28	1.29	1.33	1.31	1.39	1.37	1.36
全国	1.29	1.29	1.26	1.32	1.34	1.37	1.37	1.39	1.39	1.41	1.43	1.42	1.45	1.44	1.43

(2) 財政

■当初予算額推移



■市税（一般会計決算歳入）



3. 時代潮流

- (1) 人口減少・少子高齢社会の進行
- (2) 子育て環境の変化と健全な育児・子育てに対する関心の高まり
- (3) 持続的な開発目標（SDGs）の実現に向けた取り組み
- (4) 安心・安全確保のための取り組み
- (5) 「生きる力」を育むことの取り組み
- (6) 情報通信技術の進展
- (7) 地域における多様な共生の実現
- (8) 将来を見据えた行財政基盤づくり

4. 市民意向

(1) 調査概要

調査地域	三郷市全域
調査対象	三郷市在住の満18歳以上の男女2,000名
対象者抽出方法	住民基本台帳により無作為抽出
調査方法	郵送による配布・回収方式（インターネットからの回答も可能）
調査期間	平成30年7月2日（月）～7月20日（金）
有効回収数	944（郵送 876、インターネット 68）
有効回収率	47.2%

(2) 調査結果のまとめ（主な項目）

① 定住意向

市民意識調査では、「ずっと住みつづけたい」が 36.0%、「当分の間は住みつづけたい」が 39.1%とく住みたい>（「ずっと住み続けたい」と「当分の間は住み続けたい」の合計）が 75.1%となっています。特に「ずっと住み続けたい」と回答した人の割合は平成 20 年度と比較すると、8.5 ポイント増加しています。

② 本市のイメージの変化

ここ数年の市のイメージ変化については、「どちらかといえばよかった」が 37.6%と最も多く、「よかった」と合わせたくよかった>は 66.0%となっています。

③ 本市の特徴

三郷のまちの特徴については、「魅力を感じる」「どちらかといえば魅力を感じる」を合わせたく魅力を感じる>では、『高速道路を利用した交通の利便性』が 78.1%と最も多くなっています。

④ 本市において力を入れるべき分野

力を入れるべき施策については、「医療体制の充実」が最も多く、その割合も 12.1 ポイント高くなっています。この他、「高齢者・障がい者福祉の推進」、「子育て支援対策の充実」、「消防・防災・防犯体制の充実・強化」などの関心が高いことが調査結果から伺われます。